

愛知県感染症情報

AICHI Infectious Diseases Weekly Report

2010年27週 (7月1週7/5~7/11)

2010年6月報

愛知県感染症情報センター(愛知県衛生研究所内)

<http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/kansen.html>

E-mail: eiseiken@pref.aichi.lg.jp

連絡先: 052-910-5619 (企画情報部)

今週の内容

トピックス

ヘルパンギーナ、手足口病、結核、腸管出血性大腸菌感染症、
定点医療機関コメント
 ヘルパンギーナ、マイコプラズマ、手足口病、
 感染性胃腸炎、水痘 等

全数把握感染症発生状況 ()内は件数。

結核(31)、腸管出血性大腸菌感染症(33)、レジオネラ症(3)、後天性免疫不全症候群(6)、麻しん(1)

2010年6月報

定点把握感染症報告数(保健所別、年齢別)

「グラフ総覧」は <http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/2f/graph.pdf>

トピックス

手足口病とヘルパンギーナの流行について(ネットあいち・7月1日発表)

<http://www.pref.aichi.jp/0000032993.html>

ヘルパンギーナ(図1)

27週の定点当たり報告数は8.07と警報レベル(定点当たり6.0以上)です。前週比1.2倍(1,235人 1,468人)です。1999年13週以降では、2005年25週の定点当たり報告数12.9が最高値です。

手足口病

27週の定点当たり報告数は3.87、前週比1.2倍(590人 705人)です。警報レベル(定点当たり5.0以上)は瀬戸、岡崎市、衣浦東部の3保健所です。2010年は検査を終了した患者15名のうち12名からエンテロウイルス71型を検出しています。

【参考ページ】エンテロウイルス71型による手足口病に注意

<http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/67f/hfmd2010.html>

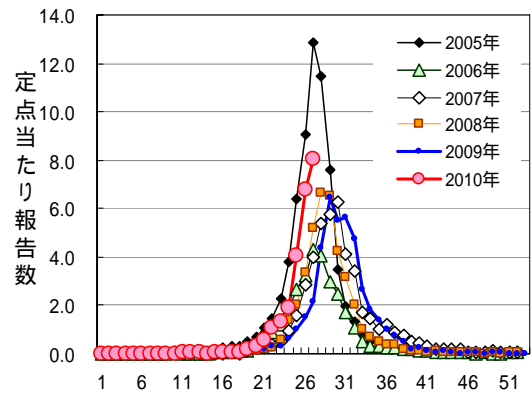


図1 ヘルパンギーナ

結核(図2)

2010年6月の報告数は183例(うち無症状病原体保有者30例)、2010年累計(1~6月診断分)は972例(同141例)です。2009年1~6月診断分は1,023例(同161例)、2009年総計は2068例(同341例)でした。

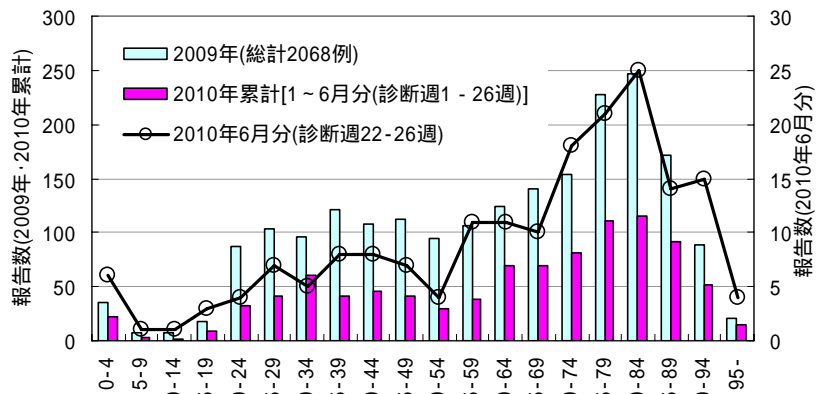


図2 結核の年齢階層別報告数(愛知県、無症状病原体保有者含む)

腸管出血性大腸菌感染症(図3)

28週までの診断週別累積報告数(無症状病原体保有者含む、7月14日現在)は92件(2009年同時期は54件)です。

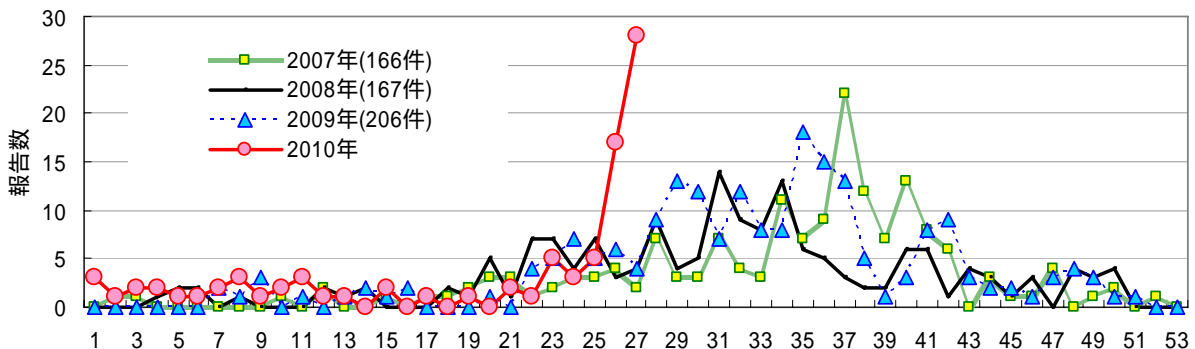


図3 腸管出血性大腸菌感染症診断週別発生状況

(愛知県、無症状病原体保有者含む、2007年1週~2010年27週、2010年7月14日現在)

定点医療機関コメント(名古屋市除く)

尾張西部地区

ムンプス流行あり。
手足口病、ヘルパンギーナ少しあります。
熱、頭痛のみの夏かぜ多いです。
【一宮市 あさのこどもクリニック】
7歳男 ロタウイルス感染。
手足口病、アデノウイルス感染症など散見。
【一宮市 後藤小児科医院】
マイコプラズマ感染症 1名。
【一宮市 ささい小児科】
クラミジア、ニューモニエ肺炎 大人2名。
【一宮市 城後小児科】

メタニューモウイルス感染症 19例。
手足口病、ヘルパンギーナ多発。
水痘続発。
【岩倉市 なかよしこどもクリニック】
ヘルパンギーナ等の夏かぜ疾患が多いです。
【江南市 みやぐちこどもクリニック】
ヘルパンギーナ、おたふくが目立ちます。
【犬山市 武内医院】
アデノウイルス3歳男
手足口病、水痘、ヘルパンギーナ散発です。
【清須市 丹羽医院】
インフルエンザはB型です。
【弥富市 医療法人すずきこどもクリニック】

尾張東部地区

ヘルパンギーナが多い。
【瀬戸市 津田こどもクリニック】
手足口病流行続いています。
今週からヘルパンギーナも増加してきました。
流行性耳下腺炎で髄膜炎合併例(3歳男)あり。
その他、水痘、溶連菌、突発症、感染性胃腸炎(O1)等。
【尾張旭市 医療法人誠和会佐伯小児科医院】
相変わらずヘルパンギーナ、手足口病が多いです。
【豊明市 こども元気クリニック】
ヘルパンギーナ多数。
溶連菌感染症少々。
【春日井市 朝宮こどもクリニック】
当院近辺ではヘルパンギーナが流行しております。
【春日井市 かちがわこどもクリニック】

ヘルパンギーナが増えています。
【小牧市 医療法人心正会鈴木小児科】
ヘルパンギーナ、手足口病が増えています。
【春日井市 春日井市民病院】
手足口病は髄膜炎で入院。
無菌性髄膜炎で2名入院しました。
【小牧市 小牧市民病院】
5歳女 サルモネラ O7
【半田市 医療法人敬おっかわこどもクリニック】
ヘルパンギーナが多いです。
【東海市 もしもしこどもクリニック】
8歳女 病原大腸菌O1(+)
1歳男 病原大腸菌O1(+)/病原大腸菌O18(+)
5歳男 病原大腸菌O1(+)
【大府市 まえはらこどもクリニック】

西三河地区

E. coli(O18)+カンピロバクター 4歳男、
12歳女
Strep A(+) 4歳男
【豊田市 星ヶ丘たなかこどもクリニック】
病原性大腸菌O6(+) 6歳男
病原性大腸菌O74(+) 9歳男
便アデノウイルス(+)の腸重積 11か月男
【岡崎市 花田こどもクリニック】
2歳男 病原性大腸菌O18
水痘、手足口病散見されます。
ヘルパンギーナ目立ちます。
【岡崎市 竜美ヶ丘小児科】
4歳女 病原性大腸菌O18
13歳男 病原性大腸菌O78
12歳男 病原性大腸菌O1
【岡崎市 医療法人川島小児科水野医院】

手足口病、ヘルパンギーナ、ムンプス目立ちます。
【碧南市 永井小児クリニック】
マイコ気管支炎2名(9歳、11歳)
【刈谷市 田和小児科医院】
ヘルパンギーナ、手足口病が流行しています。
【みよし市 みよし市民病院】
2歳男 病原大腸菌O1
【西尾市 こどもクリニック宮地医院】
病原性大腸菌 1歳男 [O1VT(-)]
【幸田町 とみた小児科】
ヘルパンギーナ流行。
【西尾市 山岸クリニック】
[6月報STD定点コメント]
34歳 外陰ヘルペス+クラミジア頸管炎
トリコモナス膣炎 18歳2名、25歳1名
【岡崎市 レディースクリニック ANDO産婦人科】

東三河地区

2歳女 サルモネラ腸炎(O9)
ヘルパンギーナ流行中です。
【豊橋市 医療法人こどもの国大谷小児科】
カンピロバクター 7歳男
【豊川市 ささき小児科】

2歳半児 カンピロバクター腸炎。
水痘 流行。
夏かぜにて高熱児が目だつ。
【豊川市 かわせ小児科】
[6月報STD定点コメント]
トリコモナス膣炎
24歳1名、19歳1名 合計2名
【豊川市 豊川市民病院】

全数把握感染症発生状況（愛知県全体・保健所受理週別）2010年7月14日現在

一～三類感染症

<関連リンク> 届出基準 http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/2f/todokedeki_jun100311.pdf

結核（二類感染症）

報告保健所	2010年27週報告数			2010年累計(1～27週)		
	総数	喀痰塗抹検査 陽性者数再掲	無症状病原体 保有者再掲	総数	喀痰塗抹検査 陽性者数再掲	無症状病原体 保有者再掲
名古屋市(16保健所合計)	18	7	3	472	140	79
豊田市				39	13	7
豊橋市				35	11	5
岡崎市	2	2		45	16	8
一宮	2		1	59	21	7
瀬戸				64	10	13
半田				17	3	2
春日井	2	1	1	58	20	10
豊川	3	1	1	28	10	4
津島	1		1	53	17	6
西尾	1	1		26	6	
江南	1			22	6	2
新城				6	2	1
知多				42	20	6
師勝				18	5	
衣浦東部	1			46	21	6
合計	31	12	7	1,030	321	156

腸管出血性大腸菌感染症（三類感染症）

番号	報告保健所	年齢	性別	発病月日	初診月日	診定月日	備考
1	名古屋市	15歳	女	6/29	7/3	7/5	O157、VT1(+)VT2(+)
2	名古屋市	58歳	女	-/-	7/8	7/10	O157、VT1(+)VT2(+)
3	名古屋市	5歳	女	7/1	7/2	7/7	O157、VT1(+)VT2(+)
4	名古屋市	8歳	男	-/-	7/7	7/9	O157、VT1(+)VT2(+) 無症状病原体保有者
5	名古屋市	7歳	男	6/30	7/1	7/2	O157、VT1(+)VT2(+)
6	豊田市	22歳	男	6/29	7/1	7/4	O157、VT1(+)VT2(+)
7	豊田市	25歳	男	6/28	7/2	7/6	O157、VT1(+)VT2(+)
8	岡崎市	36歳	女	-/-	7/3	7/5	O157、VT1(+)VT2(+) 無症状病原体保有者
9	岡崎市	11歳	女	-/-	7/3	7/5	O157、VT1(+)VT2(+) 無症状病原体保有者
10	岡崎市	5歳	女	7/1	7/2	7/6	O157、VT1(+)VT2(+)
11	岡崎市	14歳	女	7/1	7/2	7/6	O157、VT1(+)VT2(+)
12	岡崎市	26歳	女	6/28	6/29	6/30	O157、VT1(+)VT2(+)
13	岡崎市	8歳	男	7/2	7/3	7/6	O157、VT1(+)VT2(+)
14	岡崎市	13歳	女	6/30	7/2	7/6	O157、VT1(+)VT2(+)
15	岡崎市	16歳	男	6/29	7/3	7/7	O157、VT1(+)VT2(+)

(腸管出血性大腸菌感染症 つづき)

番号	報告保健所	年齢	性別	発病月日	初診月日	診定月日	備考
16	岡崎市	14歳	女	- / -	7 / 5	7 / 7	O157、VT1(+)VT2(+) 無症状病原体保有者
17	岡崎市	22歳	男	6 / 28	7 / 4	7 / 8	O157、VT1(+)VT2(+)
18	岡崎市	32歳	男	- / -	7 / 7	7 / 9	O157、VT1(+)VT2(+) 無症状病原体保有者
19	半田	25歳	男	6 / 29	6 / 30	7 / 5	O157、VT1(+)VT2(+)
20	半田	34歳	女	7 / 1	7 / 5	7 / 8	O157、VT1(+)VT2(+)
21	豊川	7歳	男	6 / 28	6 / 30	7 / 2	O157、VT1(+)VT2(+)
22	豊川	22歳	女	7 / 1	7 / 3	7 / 4	O157、VT1(+)VT2(+)
23	豊川	60歳	男	7 / 2	7 / 3	7 / 6	O157、VT1(+)VT2(+)
24	豊川	66歳	男	7 / 3	7 / 3	7 / 7	O157、VT1(+)VT2(+)
25	西尾	8歳	男	6 / 30	7 / 1	7 / 6	O157、VT1(+)
26	知多	20歳	男	6 / 30	7 / 3	7 / 6	O157、VT1(+)VT2(+)
27	知多	3歳	男	6 / 29	7 / 4	7 / 4	O157、VT1(+)VT2(+)
28	衣浦東部	27歳	女	6 / 28	6 / 30	7 / 2	O157、VT1(+)VT2(+)
29	衣浦東部	23歳	男	6 / 30	7 / 2	7 / 7	O157、VT1(+)VT2(+)
30	衣浦東部	14歳	女	7 / 2	7 / 5	7 / 7	O26、VT型不明
31	衣浦東部	31歳	女	- / -	7 / 5	7 / 8	O157、VT2(+) 無症状病原体保有者
32	衣浦東部	2歳	男	7 / 6	7 / 7	7 / 8	O157、VT1(+)VT2(+)
33	衣浦東部	35歳	男	- / -	7 / 7	7 / 9	O157、VT1(+)VT2(+) 無症状病原体保有者

四類・五類感染症(全数把握) (推定感染経路、推定感染地域は確定も含む)

レジオネラ症 (四類感染症)

番号	報告保健所	年齢	性別	病型	推定感染地域
1	豊橋市	51歳	男	肺炎型	国内
2	津島	59歳	男	肺炎型	国内
3	西尾	48歳	男	肺炎型	国内

後天性免疫不全症候群 (五類感染症)

番号	報告保健所	年齢	性別	病型	推定感染経路	推定感染地域
1	名古屋市	57歳	男	AIDS	性的接触	国内
2	名古屋市	28歳	男	その他	性的接触	国内
3	名古屋市	39歳	男	AIDS	性的接触	国内
4	名古屋市	39歳	男	AIDS	性的接触	不明
5	名古屋市	56歳	男	無症候性キャリア	性的接触	国内
6	名古屋市	25歳	男	無症候性キャリア	性的接触	国内

麻しん (五類感染症)

番号	報告保健所	年齢	性別	予防接種歴	推定感染地域
1	岡崎市	1歳	男	なし	フィリピン

2010年6月報

(2010年7月9日現在、診断週に基づく集計)

6月の一～五類感染症(全数把握対象)発生状況 [()は無症状病原体保有者再掲。]

2009～2010年に報告のあった 疾病名及び病型 ()内は全数把握対象疾病数		2010年6月			2010年 累計 <愛知県全体>	2009年 総計 <愛知県全体>
		愛知県 (名古屋市除く)	名古屋市	愛知県全体		
一類 (7)	発生報告なし	0	0	0	0	0
二類 (5)	結核	103 (17)	80 (13)	183 (30)	972 (141)	2,068 (341)
三類 (5)	コレラ	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)
	細菌性赤痢	0 (0)	0 (0)	0 (0)	2 (0)	13 (0)
	腸管出血性大腸菌感染症	26 (4)	5 (0)	31 # (4)	60 (10)	206 (53)
	腸チフス	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	2 (0)
	パラチフス	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	3 (0)
四類 (41)	E型肝炎	1	0	1	1	2
	A型肝炎	3	0	3	9	5
	オウム病	0	0	0	1	1
	つつが虫病	0	0	0	0	5
	デング熱	1	0	1	7	6
	日本紅斑熱	0	0	0	0	1
	ブルセラ症	0	0	0	1	0
	ライム病	0	0	0	0	1
	レジオネラ症	3	2	5	12	47
五類 (14)	アメーバ赤痢	2	1	3	26	55
	ウイルス性肝炎	1	0	1	7	17
	内訳 B型	1	0	1	7	11
	内訳 C型	0	0	0	0	6
	急性脳炎	0	0	0	5	35
	クロイツフェルト・ヤコブ病	0	0	0	4	8
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1	1	2	6	10
	後天性免疫不全症候群	4	12	16	66	86
	内訳 無症候性キャリア	3	9	12	39	43
	内訳 AIDS	1	2	3	23	32
	内訳 その他	0	1	1	4	11
	ジアルジア症	0	0	0	1	1
	髄膜炎菌性髄膜炎	0	0	0	1	1
	先天性風しん症候群	0	0	0	0	1
	梅毒	5	4	9	36	46
	内訳 無症候	2	1	3	15	19
	内訳 早期顕症	3	3	6	18	26
	内訳 晩期顕症	0	0	0	3	1
	内訳 先天梅毒	0	0	0	0	0
	破傷風	0	0	0	2	5
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	0	0	0	1	1
	風しん	0	0	0	3	10
	麻しん	1	0	1	9	29
	総計	151	105	256	1,232	2,666

#; 026; 6件、0157; 25件

五類感染症(月報定点把握対象)発生状況

	疾病名	2010年6月			2010年 累計	2009年 総計
		愛知県 <small><名古屋市除く></small>	名古屋市	愛知県 全体	愛知県 全体	愛知県 全体
性 感 染 症 定 点	性器クラミジア	82	69	151	846	1,695
	性器ヘルペスウイルス感染症	38	23	61	326	631
	尖圭コンジローマ	22	23	45	187	447
	淋菌感染症	27	31	58	384	692
基 幹 定 点	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	104	25	129	594	1,090
	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	18	18	36	135	146
	薬剤耐性緑膿菌感染症	0	0	0	0	5

感染症の類型及び定義(感染症法)

類型	定義
一類感染症 (7疾病)	感染力、罹患した場合の重篤性等に基づく総合的な観点からみた危険性が極めて高い感染症。患者、疑似症患者及び無症状病原体保有者について入院等の措置を講ずることが必要。
二類感染症 (5疾病)	感染力、罹患した場合の重篤性等に基づく総合的な観点からみた危険性が高い感染症。患者及び一部の疑似症患者について入院等の措置を講ずることが必要。鳥インフルエンザ(H5N1)が平成20年5月12日の法改正により従前の四類感染症鳥インフルエンザから除かれ、二類感染症に追加された。
三類感染症 (5疾病)	感染力及び罹患した場合の重篤性等に基づく総合的な観点からみた危険性は高くないが、特定の職業への就業によって感染症の集団発生を起こしうる感染症。患者及び無症状病原体保有者について就業制限等の措置を講ずることが必要。
四類感染症 (41疾病)	動物、食物等の物件を介して人に感染し、国民の健康に影響を与えるおそれがある感染症(人から人への伝染はない。媒介動物の輸入規制、消毒、物件の廃棄等の物的措置が必要。)
五類感染症 (41疾病)	国が感染症の発生動向の調査を行い、その結果等に基づいて必要な情報を国民一般や医療関係者に情報提供・公開していくことによって、発生・まん延を防止すべき感染症。
新型インフルエンザ等感染症 (2疾病)	インフルエンザのうち当該感染症に対する免疫を獲得していないことから、生命及び健康に重大な影響を与えるおそれのあるもの。新型インフルエンザ(新たに人から人に伝染する能力を獲得したウイルスによるもの)及び再興型インフルエンザ(かつて世界規模で流行したウイルスによるもの)が平成20年5月12日に指定された。
指定感染症	既知の感染症(一～三類及び新型インフルエンザ等感染症を除く)のうち、一～三類感染症と同程度の危険性を有し、それらに準じた措置を実施しなければ、国民の生命及び健康に重大な影響を与えるおそれがあるもの。一年間に限定した指定。
新感染症	人から人に伝染すると認められる疾病であって、既に知られている感染性の疾病とその病状又は治療の結果が明らかに異なるもので、当該疾病にかかった場合の病状の程度が重篤であり、かつ、当該疾病のまん延により国民の生命及び健康に重大な影響を与えるおそれがあると認められるもの。

愛知県感染症情報

2010年27週(2010年7月5日～2010年7月11日)

愛知県衛生研究所

愛知県 (保健所別)	定点数					RSウイルス感染症	*インフルエンザ (<small>鳥インフルエンザ及び新型インフル エンザ等感染症を除く。</small>)	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎 (<small>オウム病を除く。</small>)
	インフルエンザ	小児科	眼科	STD	基幹																		
愛知県 (名古屋市含む)	195	182	35	52	17	0	5	22	175	640	272	705	47	132	4	1,468	158	0	8	0	0	3	0
総数 (名古屋市を除く)	125	112	24	37	12	0	2	16	102	435	225	527	28	106	2	1,180	134	0	7	0	0	3	0
名古屋市(16保健所)	70	70	11	15	5		3	6	73	205	47	178	19	26	2	288	24		1				
瀬戸	9	9	2	3	1			1	14	28	18	61	2	10		181	4						
津島	7	7	2	2	1		1		7	95	8	17	4	7	1	73	24						
師勝	4	4	1	1					11	7	2	10	8	1		14							
一宮	16	12	3	4	1			2	11	13	17	28	2	7	1	34	22		1				
春日井	9	9	2	3	1			2	11	34	30	42	2	8		182	24						
江南	6	6	1	2				3	5	28	14	20	2	8		54	9						
半田	6	6	1	2	1			2	5	22	11	27	2	5		51	14						
知多	7	7	2	2					7	29	8	23	1	7		64	3						
岡崎市	11	7	2	2	1				5	13	23	82		10		115	1						
衣浦東部	13	13	2	4	1		1	1	7	53	32	85		13		92	12		1				
西尾	5	5	1	2	1				2	24	12	19		6		23	2						
豊田市	9	9	2	4	1				8	30	16	43	3	10		120	6		2			2	
豊橋市	12	8	2	4	1			1	3	31	7	38	1	6		97	6		1			1	
豊川	9	8	1	2	1			4	4	28	26	32	1	8		80	7		2				
新城	2	2			1				2			1											

*新型インフルエンザ(A/H1N1)を合わせた報告

愛知県感染症情報

2010年27週(2010年7月5日～2010年7月11日)

愛知県衛生研究所

年齢階層 (名古屋市を除く)	RSウイルス感染症	*インフルエンザ (鳥インフルエンザ及び 新型インフル エンザ等感染症を除く。)	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎 (オウム病を除く。)
計	0	2	16	102	435	225	527	28	106	2	1,180	134	0	7	0	0	3	0
～6ヶ月				1	1	3	1		5		5							
～12ヶ月			1		26	6	15		60		53							
0歳																		
1歳			5	4	52	34	96	2	37		238	2					1	
2歳			3	6	43	39	100	2	4		211	10						
3歳			2	10	29	46	87	4			196	15						
4歳			4	16	38	37	83	3			148	20					1	
5歳				14	44	26	63	7			128	18						
6歳				10	28	11	30	1			86	26						
7歳				10	22	11	20	4			49	22						
8歳				8	24	4	11	3			22	11						
9歳				5	15	6	7	2			15	4						
5歳～9歳																		
10歳～14歳		1	1	12	39	2	9				25	5		1			1	
15歳～19歳				1	6		2											
20歳～				5	68		3			2	4	1						
20歳～29歳																		
30歳～39歳														3				
40歳～49歳		1																
50歳～59歳														2				
60歳～69歳														1				
70歳～																		
70歳～79歳																		
80歳以上																		

*新型インフルエンザ(A/H1N1)を合わせた報告